

デジタル電波目覚まし時計

取り扱い説明書

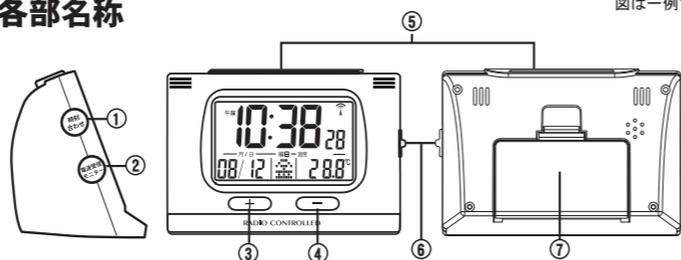
製品型番：THM012

取説番号 G-TCH18



※図は一例です。

各部名称



図は一例です。

① 時刻合わせボタン

時刻や日付などを合わせるときに使用します。約3秒間押し続けると表示が点滅し、12/24時間切り替え・時刻・日付・カレンダー等の設定を行う事が出来ます。

② 電波受信／モニターボタン

1. モニター音の確認
1回押すと、アラーム音を確認する事が出来ます。音を止める場合は①～⑤までのボタンのどれかを押しとめます。
2. 強制受信
約2秒間長押しすると「電波の受信」が始まります。再度押すと電波受信を解除出来ます。

③ +ボタン

1. 手動時刻、アラーム時刻設定するとき
時間や日付などを合わせるときに使用します。設定時に1回押すと数値が1進みます。押し続けると早送りできます。
2. アラーム設定
1回押すとアラーム時刻設定を表示出来ます。

④ -ボタン

1. 手動時刻、アラーム時刻設定するとき
時間や日付などを合わせるときに使用します。設定時に1回押すと数値が1戻ります。押し続けると早送りできます。
2. アラーム設定
1回押すとアラーム時刻設定を表示出来ます。

⑤ LIGHT/SNOOZEボタン

押すとライトが点き約5秒後に自動的に消えます。アラームが鳴っている時、押すとアラームが一時的に止まり約5分後にまた鳴ります。(スヌーズ機能)

⑥ アラームスイッチ

アラームのON/OFFに使用します。上にするると「ON」下にするると「OFF」です。

⑦ 電池フタ／電池ボックス

フタを外して電池をセットします。セットしたあとは必ず閉めて下さい。
※電池ボックス内に向きが表示してあります。

ご購入後の時刻合わせ

ご使用の際は、電池をセットし、画面に貼っている静電シールを剥がしてご使用ください。

受信マーク→



1. 単3電池2本を電池ボックスの＋表示に合わせて入れ、フタを閉めてください。
2. 画面に表示が出た後、バックライトが点滅、ブザー音が鳴り、画面右上に受信マークが表示され電波受信を開始します。
3. 受信状態に入り、受信完了まで最長で約8分が点灯します。
4. [受信に成功した場合]
画面に受信マークと時刻が表示されます。
5. [受信に失敗した場合]
受信マークが消え、最初に出た画面表示(12時)から動きだしている場合、正しい時刻ではありません。

受信マークが消え、最初に出た画面表示(12時)から動きだしている場合、正しい時刻ではありません。

次項の「電波受信に失敗した場合」をご確認の上、窓際などに場所を変えて強制受信または手動設定を行なってください。

※電波受信中も時刻表示は動いています。

■電波の受信について

- 受信中の時計は動かしたり、他の操作ボタンを押さないでください。誤作動・故障の原因となります。
- 受信が終了するまでに最長で約8分かかります。
- 受信機能を多用すると電池を消耗し、電池寿命が短くなりますのでご注意ください。
- 電波が受信しにくい場合は生活電波ノイズ(家電製品・パソコン等)の影響が少ない場所、または、夜間に電波受信を行ってください。(※深夜は受信状況が安定します)



例：電波を受信しやすい窓際等で受信を行なってください。

※写真は一例です。

■電波受信に失敗した場合

※ご購入時の時刻合わせで正しい時刻を示さない場合や表示されない場合は、次のいずれかの方法で時刻合わせを行

●翌日まで様子を見る(自動受信)

1日1回以上電波受信を受けて時刻設定を行ないます(1日) [受信に成功した場合]
画面に受信マークと時刻が表示されます。
[受信に失敗した場合]
受信後、受信マークが消え、最初に出た画面表示(12時)の正しい時刻ではありません。

●手動で受信させる(強制受信)

本体下部の②「電波受信／モニター」ボタンを約2秒押し続けると受信マークが点滅後、電波の受信が始まります。受信終了まで他の操作をしないでください。
※受信を解除したい時は「電波受信／モニター」ボタンを再度どうしても電波受信が出来ない時は、下記の手動時刻設定を

●電波を使わない時刻合わせ(手動時刻設定)

時報などを参考に行ってください。設定中に約30秒間操作が表示に戻ります。その場合は最初からやり直して下さい。

※設定を行うと設定部分の項目が点滅します。

1. 「時刻合わせ」ボタンを約3秒間長押しすると手動時刻設定画面
2. 時を設定：+ボタンまたは、-ボタンを1回押すと数値が進み、長押しで早送りする事ができます。設定後「時刻合わせ」
3. 分を設定：+ボタンまたは、-ボタンを1回押すと数値が進み、長押しで早送りする事ができます。設定後「時刻合わせ」
4. 秒を設定：+ボタンまたは、-ボタンを1回押すと数値が「00」分が変わると同時に押してください。設定後「時刻合わせ」約30秒ボタン操作がないと設定が終了するので、くらいで+ボタンまたは、-ボタンを押して、設定
5. 年を設定：+ボタンまたは、-ボタンを1回押すと数値が進み、長押しで早送りする事ができます。設定後「時刻合わせ」ボタンを押します。
※2009年までのオートカレンダー。「年・月・日」を設定すれば、「日」
6. 月を設定：+ボタンまたは、-ボタンを1回押すと数値が進み、長押しで早送りする事ができます。曜日(自動的)に設定後「時刻合わせ」ボタンを押します。
7. 日を設定：+ボタンまたは、-ボタンを1回押すと数値が進み、長押しで早送りする事ができます。曜日は自動的に設定後「時刻合わせ」ボタンを押します。
8. 12時間/24時間の表示を設定します。(12時間表示の場合のみ)+ボタンまたは、-ボタンを1回押すと「12Hr」または「24Hr」と「時刻合わせボタン」を押して時刻の設定は終了です。

ご注意(電池について)



守りください。電池の使い方を間違えると液漏れや破損の恐れがあり、機械の)原因になります。

様が誤飲する恐れがございますので、はずした電池は手の届かない場所へ願ひ致します。

りて正しく入れて下さい。

しい電池、色々な種類の電池を混ぜたり、充電式電池を使用しないで下さい。

ンダ付けしたり水滴を付けないでください。

温・多湿の場所を避けて保管してください。

也は速やかに処分、または幼児の手の届かない所に保管して下さい。

んだ場合はただちに医師にご相談ください。

ら漏れた液が目に入った場合は、すぐに大量の水で洗い流し、ただちに

ください。

分解、ショートのある事は絶対にしないで下さい。また、加熱したり

しないでください。

電によって必ず少しずつ消耗していきます。

表示した電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていても指定の

交換することをお薦め致します。また、時計を長く使わない時に電池を

しておく、古い電池からの液漏れなどにより機械が故障したり、

引したり傷めたりする恐れがあります。

時は電池を取り出してください。

一電池は工場出荷時より入っています。この電池は製品仕様に表示した

く切れる事があります。この電池は保証対象外となりますので、その場合は

お買求めください。

りりするなど、正常に作動しない時は電池切れの可能性がございますので、

行ってください。

故障かな?と思った時に

ご使用中にすべての針が正確な時刻を表示しない場合は、電池を一旦電池ボックスから取り外し、2分～3分経ってから再度入れ直し、窓際など電波受信しやすい場所に置いてください。

電波受信に失敗した場合は、電波受信／モニターボタンを長押ししてください。

「強制受信」と同じ状態になり再び受信を開始します。

上記の方法を試しても正常に作動しない時は、以下の事をお確かめください。

●時刻があわない

⇒電波受信が出来なかった可能性があります。時計の置く場所を窓際などに変えてください。

※電波の受信中に時計を移動しないでください。

電波が安定して受信されず時刻修正が受信出来ないおそれがあります。

⇒または、ご使用中の電池容量が少なくなっていると思われます。新しい電池と交換してください。

●初回電波受信後から数日後、数秒のズレの場合

⇒夜中の自動受信時、電波が受信出来なかった可能性があります。次回受信時に成功する場合もありますので、数日様子を見ることをおすすめします。数秒のズレが修正出来ない場合、設置場所での電波受信が困難な場合が考えられます。その場合は、①置き場所を変えて様子を見る、②時々、屋外や窓際で強制受信(手動受信)を行う、③手動時刻設定をするのいずれかをお試しください。

●時計が突然止まって使用中に動かなくなった、電池を入れても動かない・遅れる

⇒ご使用中の電池容量が少なくなっていると思われます。その場合は新しい電池と交換してください。または、強い磁気のある場所に時計を置いていませんか?家電製品や磁気製品から離してください。

●ボタンを押しても操作ができない

⇒電波受信中の場合があります。受信が終了するまでしばらくお待ちください。

●時計が表示がおかしい、電池を入れても受信モードにならない。

⇒電池の＋(プラス・マイナス)の向きは正しい向きでセットされていますか?

また、電池の端子が汚れていますと接触不良になります。端子の表面を拭いて電池を入れ直してください。

⇒液晶の表示がおかしい・止まった状態の時は、背面の「リセット」と書かれた穴に細く固い棒状の物でボタンを押してください。内部の表示をリセットとし、正常な作動へ復旧します。

電波時計について

■電波時計

本製品は日本の標準時刻電波を受信して、自動で時刻を修正します。

※標準時刻電波は独立行政法人・情報通信研究機構(NICT)の標準電波送信所より送信されています。標準時刻電波は、24時間送信されておりますが、保守作業などの為一時的に送信が止まる場合があります。

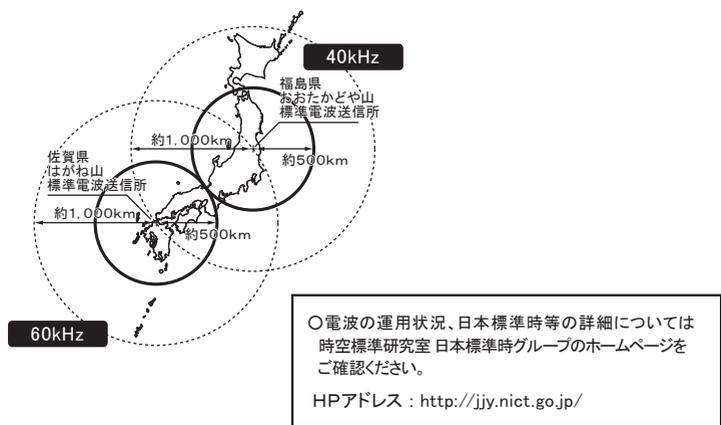
※一度受信を行ってから次に電波を受信するまでは、内蔵されたクォーツの精度により作動します。常に正しい時刻を表示させるためには毎日の確実な受信を心掛けてください。

■受信範囲

本製品の受信可能範囲は、標準時刻電波送信所より半径約1000kmですが、標準時刻電波が届く範囲は、時間帯・季節・気候・地形など様々な条件により変化しますので、受信可能範囲内であっても受信が出来ない事があります。※本製品は、福島局(40kHz)または佐賀局(60kHz)の電波を自動で選局して受信する両局対応モデルです。

■受信範囲図

※この図は目安です。円の範囲内でも受信できない場合もあります。



■電波の受信について

●受信中の時計は動かさしないでください。

●受信が終了するまでに約8分かかります。

●受信中はボタン操作をしないでください。

●受信が正常に終了しているのに正しい時刻が表示されない場合は、受信中にノイズ等の影響により正しく設定されていない事が考えられますので、場所を変えて再度受信を行ってください。

●受信機能を多用すると電池を消耗し、電池寿命が短くなりますのでご注意ください。

受信時の注意

受信しやすい場所

- 1.電波発信塔の方向にある窓際(受信範囲図参照)
※近くにビルや高压線・鉄骨・鉄筋コンクリートの建物がない窓際
- 2.家電製品から離れた設置場所
※照明器具、パソコン及びモニター・エアコン・冷蔵庫・電子レンジなどから離れた場所

設置場所で受信が困難な場合の対処方法

- ①設置場所が移動できる場合は移動して様子を見て下さい。
- ②設置場所を移動できない場合、屋外で手動受信(強制受信)をしてみてください。
自動電波受信が成功したら、設置場所へ戻して下さい。
※電波を受信しなくとも、窓際や屋外(ベランダ等)で強制受信をしたり、電波受信条件に問題なければ、電波を受信する事が出来ます。電波を受信出来ない場合でも時計に内蔵されたクォーツ時計で動きます。

■安定した受信のために

屋間は、家電や携帯電話などから発生するさまざまな雑電波が多い為、受信しやすい窓際や安定した強い電波を受信出来る場所・時計の向きを見つけて、その場所に時計を設置して下さい。
また、受信中は時計を動かしたり、ボタン操作は行わないで下さい。
受信しない場合は、夜間1度電池を外し、再び電池をセットして朝まで窓際に置いて様子を見て下さい。
夜間は電波状態が良くなる為、受信の成功する確率が高くなります。

■受信が難しい場所

- 車・電車・飛行機など乗り物の中
- 山間部で電波が山等に遮断される場合 ※高压線・変電施設等が近くにある。
- ビルによる電波の遮断 ※工場等の高出力電力等が発生する施設が近くにある。
- 鉄筋コンクリート素材のマンションで中央部のお部屋
- 電化製品に近い場所での設置(照明器具・パソコン及びモニター・エアコン・冷蔵庫など)
- 使用中の携帯電話の近く
- 極度の高温または低温の状況下
- 設置場所から送信所方向に電波の妨げになる障害物がある場合
- 悪天候時(雪・台風・雷など)
- ケース・引き出しなどの中。

上記以外の条件も考えられますので、受信が難しいなと感じましたら「安定した受信のために」を参照して下さい。

敗した場合

|合わせて正しい時刻を示さない場合や通常ご使用時に正しい時刻を、次のいずれかの方法で時刻合わせを行なってください。

見る(自動受信)

!信を受けて時刻設定を行ないます(1日最大受信回数4回)

【場合】

!時刻が表示されます。

【場合】

!が消え、最初に出た画面表示(12時)の表示から動いている場合、!ません。

る(強制受信)

波受信/モニター」ボタンを約2秒押し続けると、「ピッ」と音が鳴り、後、電波の受信が始まります。

操作をしないでください。

!時は「電波受信/モニター」ボタンを再度押してください。

!が出来ない時は、下記の手動時刻設定を行なってください。

時刻合わせ(手動時刻設定)

行って下さい。設定中に約30秒間操作が行われないと、通常の時刻の場合は最初からやり直して下さい。

!部分の項目が点滅します。

!を約3秒間長押しすると手動時刻設定画面に切り替わります。

または、一ボタンを1回押すと数値が進んだり、戻ったりします。

!送りする事ができます。設定後「時刻合わせ」ボタンを押します。

または、一ボタンを1回押すと数値が進んだり、戻ったりします。

!送りする事ができます。設定後「時刻合わせ」ボタンを押します。

または、一ボタンを1回押すと数値が「00」になります。

ると同時に押してください。設定後「時刻合わせ」ボタンを押します。

!ボタン操作がないと設定が終了するので、時報までの間は4秒間隔

+ボタンまたは、一ボタンをを押して、設定を継続させてください。

または、一ボタンを1回押すと数値が進んだり、戻ったりします。

!送りする事ができます。

時刻合わせ」ボタンを押します。

ートカレンダー、「年・月・日」を設定すれば、「曜日」は自動で表示されます。

または、一ボタンを1回押すと数値が進んだり、戻ったりします。

または、一ボタンを1回押すと数値が進んだり、戻ったりします。

早送りする事ができます。曜日は自動的に設定されます。

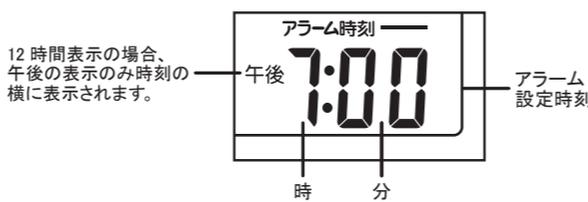
時刻合わせ」ボタンを押します。

表示を設定します。(12時間表示の場合のみ午前/午後が表示されます)

ボタンを1回押すと「12H」または「24H」と表示が切り替わります。

!を押して時刻の設定は終了です。

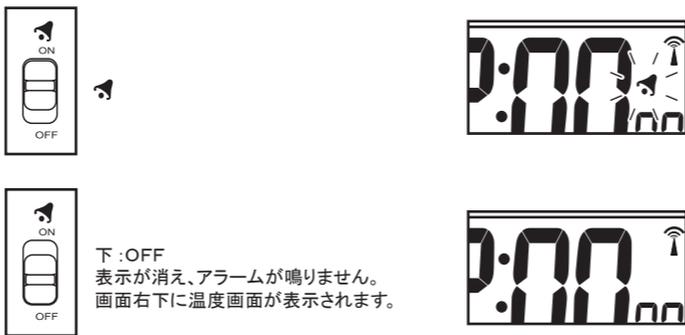
●アラームの使い方



図は一例です。

- +ボタン、一ボタンのどちらかを一回押すと温度表示部分がアラーム時刻設定モードに切り替わり、時刻が点滅します。
※アラームスイッチをONにしてもアラーム設定モードに切り替わりません。
スイッチ切り替えて設定をする場合は+ボタン、一ボタンのどちらかを一回押して時刻が点滅してから設定を行なってください。
- +ボタンまたは一ボタンを一回押すと、「分」表示が進んだり、戻ったりしますので、起きたい時間に時刻を合わせます。
+ボタンまたは一ボタンを長押しすると早送りできます。
- +ボタン、一ボタンからアラーム設定モードに入った場合は、アラームスイッチをONにしてください。
!マークが点灯してアラームの設定は終了です。※アラームスイッチをONにするど「ピピッ」と音が鳴り、温度表示がアラーム時刻表示に変わります。
※電波受信中はアラームの時刻設定をする事は出来ません。

下図を参考にアラームスイッチON/OFFの切り替えを行なってください。



●アラームの止め方

設定時刻が来るとアラームが鳴ります。鳴っている間はアラームマーク(!!)が点滅します。

鳴っている間に①~④いずれかのボタンを押すとアラームが止まります。

(その場合SNOOZE機能は作動しません)

※何もしないとアラームは約2分間鳴り続けて止まります。

※止めたアラームは翌日の設定時刻にまた鳴ります。

※アラームスイッチをOFFにすると、ONにするまでアラームが鳴りません。

●止めてもまた鳴るスヌーズ機能の使い方

設定時刻が来るとアラームが鳴ります。鳴っている間にSNOOZE/LIGHTボタンを押すと

アラームが一旦止まり、約5分後にまた鳴ります。

スヌーズ中に①~④いずれかのボタンを押すとスヌーズが終了します。

何もせずアラームが自動で止まった場合もスヌーズが終了します。

(上記の場合、アラームマークの表示は消えません。)

また、アラームスイッチをOFFしても止まります。

(この場合、アラームマークの表示は消えます。)

※SNOOZE/LIGHTボタンを押すとアラームマーク(!!)が点滅し、約5秒間ライトが

点灯します。

※スヌーズ中はアラームマーク(!!)が点滅しています。

※スヌーズ機能は、約8回動作を繰り返します。

※何もしないとアラームは約2分間鳴り続けて止まります。

※止めたアラームは翌日の設定時刻にまた鳴ります。

※アラームスイッチをOFFにすると、ONにするまでアラームは鳴りません。

●ライトの使い方

SNOOZE/LIGHTボタンを押すとライトが点灯します。

約5秒後に自動的に消灯します。

※多用すると電池寿命が短くなります。

●温度計



※温度が-10度以下では「LL.L」60度以上では「HH.H」と表示されますが

温度が表示可能範囲に戻れば正常に表示されます。

製品仕様

■機能

電波受信による自動時刻/カレンダー修正・手動受信も可能

※受信成功から次の受信成功までは内蔵クォーツで作動

電波が受信できない場合の手動時刻/カレンダー修正

※内蔵クォーツ精度で作動

電子音アラーム(アラームは4段階に変化)

※止めてもまた鳴るスヌーズ機能・約2分で止まるオートストップ機能付

アラーム音が確認できるモニター音確認機能付

時刻(時・分・秒) 12時間表示/24時間表示

カレンダー(月・日・曜日、2099年までのオートカレンダー)

温度計(自動計測) 実用測定範囲 -10℃~+60℃

※-10度以下は「LL.L」60度以上は「HH.H」と表示

※表示は0.1℃単位

バックライト

■仕様

受信電波

受信電波：日本標準電波JUY

※日本国外では電波時計としては使用できません、

海外で使用する場合は通常の時計としてお使い下さい。

自動受信

受信周波数：40/60kHz(自動選局)1日最大受信回数4回

内蔵クォーツ精度

平均月差 ±60秒 (気温25℃で使用した場合)

作動温度範囲

-10℃~+60℃

使用電池

単3電池 ×2本(アルカリ電池推奨)

※充電式電池・デジカメ用ハイパワー電池には対応しておりません。

機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないでください。

電池寿命

約1年(アルカリ電池使用の場合)

※付属で入っている単3電池はモニター用になります。

記載の電池寿命より早く切れる場合がございます。

製造国

中国

セット内容

本体、モニター用単3電池 ×2、取り扱い説明書

■ディスプレイ表示の不具合について(時計のリセット方法)

放電などにより、ディスプレイ表示に不具合が生じる事があります。その場合は一度電池を入れ直して下さい。電波の自動受信を開始します。その後の手順は「ご購入後の時刻合わせ」をご覧ください。

■電池交換について

時計が遅れたりするなど、正常な動作を示さない時には、電池切れの可能性があるので、電池交換を行ってください。使用電池は単3電池2本です。必ず新しい電池をお使いください。

■お手入れについて

乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。時計を長くお使いにならない時は、電池を電池ボックスから外してください。ベンジン・アルコール等の溶剤、ミガキ粉、硬いブラシ等は使わないでください。変色・変形やキズを付ける恐れがあります。

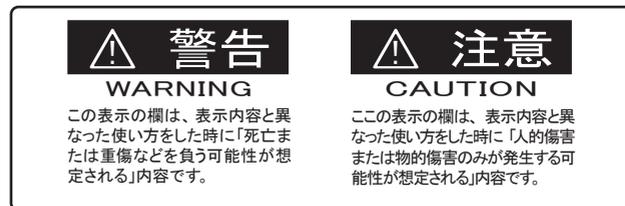
■ウエルドラインについて

本体のプラスチックは溶けた状態で金型に流し込んで成型されます。このとき溶けたプラスチックが金型の中で合流した部分が、線になって残ることがあります。それがウエルドラインと呼ばれるもので、細い線のように見えます。キズなどの不良品ではありませんので安心してお使いください。

安全上のご注意 必ずお守り下さい。



ご使用になられる方や他の方への危害及び財産の損害を未然に防ぐため、下の表示で区分されている内容につきましては、一読してご確認の上必ずお守りください。



本製品は以下のような場所でのご使用や保管を避けてください。

- RESETボタンのご使用は「1回・1秒程度」としてください。※長押しした場合、IC等に不具合を生じる恐れがあります。
- 長時間にわたり温度が+50℃以上になる所、直射日光の当たる所や屋外、暖房器具の熱風が当たる所、火気に近い所などや、温度が-10℃以下になる所(冬の戸外など) ※プラスチック部品の劣化や電池の消耗・劣化に影響があります。
- はげしい振動のある所、不安定な所。 ※落下や転倒により、けがや器物を破損する恐れがあります。 ※本製品は表面の素材にガラスを使用している為、お子様の手が届く所でのご使用や不安定な場所でのご使用は大変危険ですので避けてください。
- ちりやほこりの多い所や台所など多くの油を使用する所。 ※空気中に舞い上がったゴミが霧状になった油分と付着し、時計が故障する事があります。

- テレビ、スピーカーなどの近くや強い磁気のある所。 ※磁力の影響で進み遅れが生じたり、時計が止まったりする事があります。 ※磁気をおびた製品(キャッシュカード・時計など)の近く。 極度の静電気により、誤った表示をしたり電子部品が破損する場合があります。

- 浴室など湿気の多い所。また、水のかかる所や加湿器の近くなど。

※本製品を分解しますと、精度や機能が低下しますので、絶対に分解しないでください。 ※本製品は業務用ではありません。

ご使用上のご注意(電池について)

下記の事を必ずお守りください。電池の使い方を間違えると液漏れや破損(故障やケガなど)の原因になります。また、小さなお子様が誤飲する恐れがございますので、はずした電池は置いて頂くようお願い致します。

- [1] 十ーを確かめて正しく入れて下さい。
- [2] 古い電池と新しい電池、色々な種類の電池を混ぜたり、充電式電池を使用
- [3] 電池に直接ハンダ付けしたり水滴を付けないでください。
- [4] 直射日光、高温・多湿の場所を避けて保管してください。
- [5] 使用済み電池は速やかに処分、または幼児の手の届かない所に保
- [6] 万ー、飲み込んだ場合はただちに医師にご相談ください。
- [7] 万ー、電池から漏れた液が目に入った場合は、すぐに大量の水で洗い医師にご相談ください。
- [8] 無理な充電や分解、ショートのある事は絶対にしないで下さい火の中に入れてください。
- [9] 電池は自然放電によってもすこしずつ消耗していきます。
- [10] 製品仕様に表示した電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いて新しい電池と交換することをお薦め致します。また、時計を長く使わな入れたままにしておくと、古い電池からの液漏れなどにより機械が故障周囲の物を汚したり傷めたりする恐れがあります。長く使わない時は電池を取り出して下さい。
- [11] 付属のモニター電池は工場出荷時より入っています。この電池は製造寿命よりも早く切れる事があります。この電池は保証対象外となります新しい電池をお買求めください。
- [12] 時計が遅れたりするなど、正常に作動しない時は電池切れの可能性電池交換を行ってください。